

加東市立滝野中学校

学校だより 若 鮎 1月号

令和7年1月7日 発行 学校長 後藤浩美

新年の誓い

令和7年(2025年)の幕開けです。乙巳(きのと・み)年、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」「これまで努力してきたことが実を結び始める年」なのだそうです。2学期の終業式で、今年チャレンジすること、新年の抱負をもって新学期を迎えようと話しました。自分の目標に向かってチャレンジを積み重ね、それが実を結ぶいい年になることを願います。みんなで励まし合い、力を合わせてがんばりましょう。



保護者の皆様、地域の皆様、本年もかわらず温かいご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

健康で安全な毎日を！

まもなく阪神淡路大震災から30年です。その間も、昨年の能登をはじめ、災害被害は続いています。他人事ではなく、想定外ではなく、命を守るために「備える」ことが大切です。日ごろの健康も同じ。規則正しい生活、バランスの良い食事、早寝早起きで健康な体を作るとともに、教室の換気や手洗いなどの感染症対策や命を守る交通ルールやマナーもよく知っているはずです。健康や安全は、私たちのがんばる力を支える大切な基盤です。目先の損得や楽しさ、思い込みに惑わされず、しっかりと意識して行動しましょう。

1月25日(土)には、加東市地域防災訓練が本校で行われます。地域や関係機関の皆さんとともに、防災を考える1月にしたいと思います。

いい時を、心からだに、積もらせよう

山本富士子さんという女優さんのエッセイを紹介します。ご主人にもらったカードにあった詩のお話です。

砂時計の詩

1トンの砂が、時を刻む砂時計があるそうです。
その砂が、音もなく巨大な容器に積もっていくさまを見ていると
時は過ぎ去るものではなく
心のうちに からだのうちに積もりゆくものということ、実感させられるそうです。
時は過ぎ去るものではなく
心のうちに からだのうちに積もりゆくもの



「私はこの言葉に出会うまでは、時は過ぎ去るものと考えていました。こうしてお話しているときももちろん刻々と過ぎていきます。だからこそこの一瞬一瞬を大切に、一日一日を大切に、いい刻を自分の心や体の中に積もらせていくことが大事で、それがやがて豊かな心やいい人生を紡いでいってくれる。そう受けとめて、一日一日を精いっぱい生きる、きょう一日を精いっぱい生きることの大切さを改めて実感させられました。とても感動したものですから小さな紙に書いて、お財布に入れていつも持ち歩いているんです。」

(『1日1話、読めば心が熱くなる365人の仕事の教科書』より)

今年も「毎日充実した日々を過ごしたい」と願います。そして、それはきっと自分次第なのでしょう。